

交通・都市環境計画研究室の修士2年生の矢端伸一朗氏・坪田隆宏准教授・吉井稔雄名誉教授（現・北海道大学教授）らの論文が、インドネシア・スラカルタで開催された「The 16th International Conference of Eastern Asia Society for Transportation Studies (EASTS conference 2025)」において、Yasoshima Yoshinosuke Prize（最優秀論文賞）を受賞しました。本賞は、今大会で発表された400編の査読付き論文の中で最も優れた論文に対して授与されるものです。

受賞対象論文は「Prediction of Expressway Accident Locations Using Contribution Information From Grad-CAM」で、深層学習モデルと説明可能AIを活用して、高速道路上の30分先の事故危険箇所を予測するものです。本論文は、矢端氏の卒業論文の成果を発展させて取り纏めたものであり、矢端氏・坪田准教授・吉井名誉教授と、共同研究先である高速道路総合技術研究所のJian XING氏との連名によるものです。

本学の研究・教育の成果が国際的に高く評価される機会となり、嬉しく思います。

